

令和 7 年 5 月 28 日
消 防 庁**「令和 6 年中の危険物施設に係る事故の概要」の公表**

令和 6 年中（1 月～12 月）の危険物施設に係る事故の発生状況について、とりまとめましたので、その概要を公表します。

1 火災事故の発生状況**◆ 火災事故は267件、重大事故は11件**

危険物施設^{*1}における火災事故は267件発生しており、このうち事業所外に物的被害が発生する等の重大事故^{*2}は11件発生しています。重大事故の内訳は、事故発生から鎮圧までの時間が 4 時間以上の火災事故が 7 件、事業所外に物的被害が発生した火災事故が 3 件、死者が発生した火災事故が 1 件となっています。

* 1 「危険物施設」とは、消防法第11条第 2 項の規定により許可を受けた施設であり、地下タンク貯蔵所、給油取扱所等がある。（令和 6 年 3 月 31 日現在の危険物施設数（完成検査済証交付施設数）は379, 120施設）

* 2 「重大事故」の定義については、本文を参照。

◆ 発生原因は維持管理不十分などの人的要因が多い

発生原因は維持管理不十分が52件（19.5%）で最も多く、次いで、操作確認不十分が46件（17.2%）、腐食疲労等劣化が33件（12.4%）となっています。

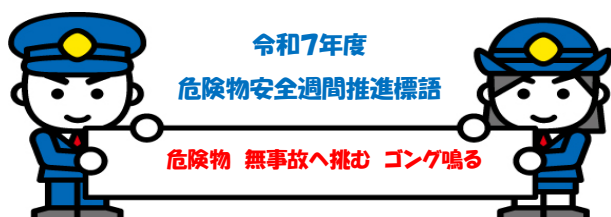
2 流出事故の発生状況**◆ 流出事故は486件、重大事故は12件**

危険物施設における流出事故は486件発生しており、このうち一定量以上の危険物が事業所外へ広範囲に流出する等の重大事故^{*3}は12件発生しています。重大事故の内訳は、一定量以上の危険物が事業所外へ広範囲に流出した流出事故が11件、死者が発生した流出事故が 1 件となっています。

* 3 「重大事故」の定義については、本文を参照。

◆ 発生原因は腐食疲労等劣化などの物的要因が多い

発生原因は腐食疲労等劣化が165件（34.0%）で最も多く、次いで、操作確認不十分が60件（12.3%）、維持管理不十分が43件（8.8%）となっています。



連絡先 消防庁危険物保安室
羽田野、馬場、笹壁
TEL 03-5253-7524（直通）

令和 6 年中の危険物施設に係る事故の概要

令和 7 年 5 月

消防庁危険物保安室

危険物施設における事故発生件数の推移等

概 況

令和6年中（令和6年1月1日～令和6年12月31日）の事故件数については、火災事故が267件（前年243件）、流出事故が486件（前年468件）となっている。このうち、重大事故*については、火災事故が11件（前年10件）、流出事故が12件（前年12件）となっている。また、死傷者については、火災事故が死者1人（前年1人）、負傷者50人（前年29人）、流出事故が死者1人（前年0人）、負傷者40人（前年11人）となっている。（第1図、第2図、第3図、第4図、第5図、第6図、第1表、第2表参照）

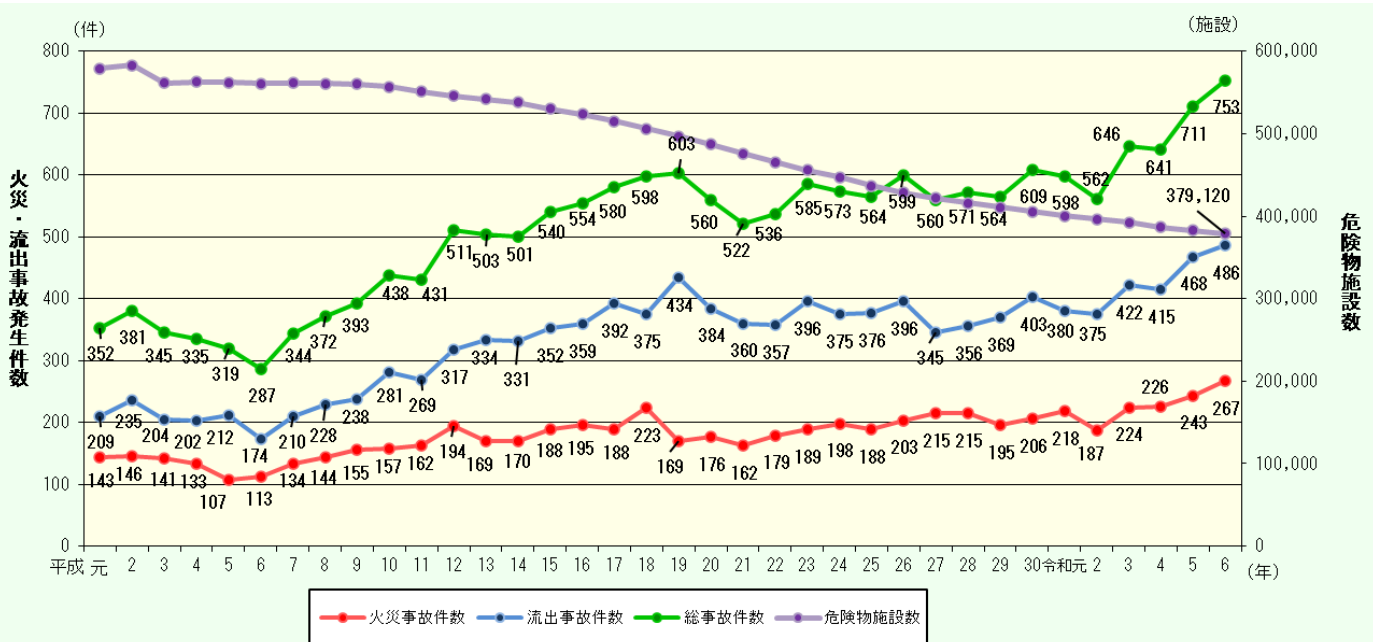
火災事故の発生原因は維持管理不十分が52件（19.5%）で最も多く、次いで、操作確認不十分が46件（17.2%）、腐食疲労等劣化が33件（12.4%）となっている。流出事故の発生原因は腐食疲労等劣化が165件（34.0%）で最も多く、次いで、操作確認不十分が60件（12.3%）、維持管理不十分が43件（8.8%）となっている。（第7図参照）

なお、本概要においては、最大震度6弱以上の地震による被害を除外している。

*重大事故

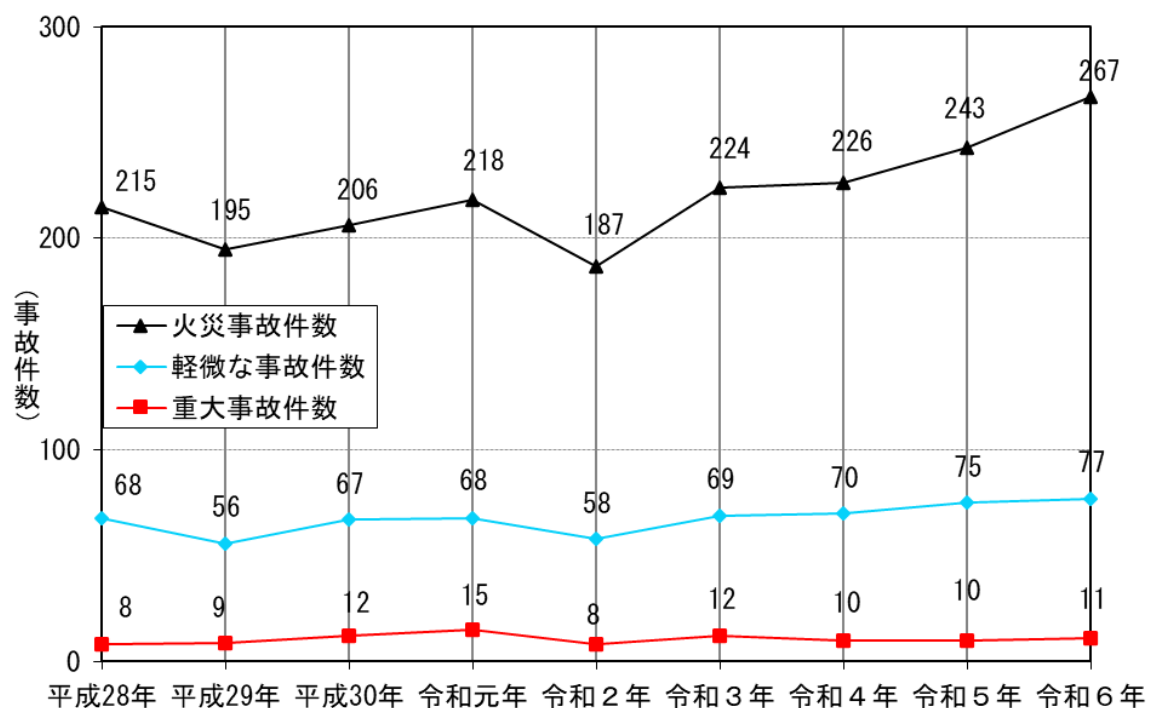
- 火災事故に係る重大事故は次の①～③のいずれかに該当するものをいう。
 - 死者が発生した火災事故（人的被害指標）
 - 事業所外に物的被害が発生した火災事故（影響範囲指標）
 - 事故発生から鎮圧までの時間が4時間以上の火災事故（収束時間指標）
- 流出事故に係る重大事故は次の①又は②のいずれかに該当するものをいう。
 - 死者が発生した流出事故（人的被害指標）
 - 一定量以上の危険物が事業所外へ広範囲に流出した流出事故（流出被害指標）

第1図 危険物施設における火災事故・流出事故の発生件数及び危険物施設数の推移



（注）事故発生件数の年別傾向を把握するために、震度6弱以上（平成8年9月以前は震度6以上）の地震により発生した件数を除いている。

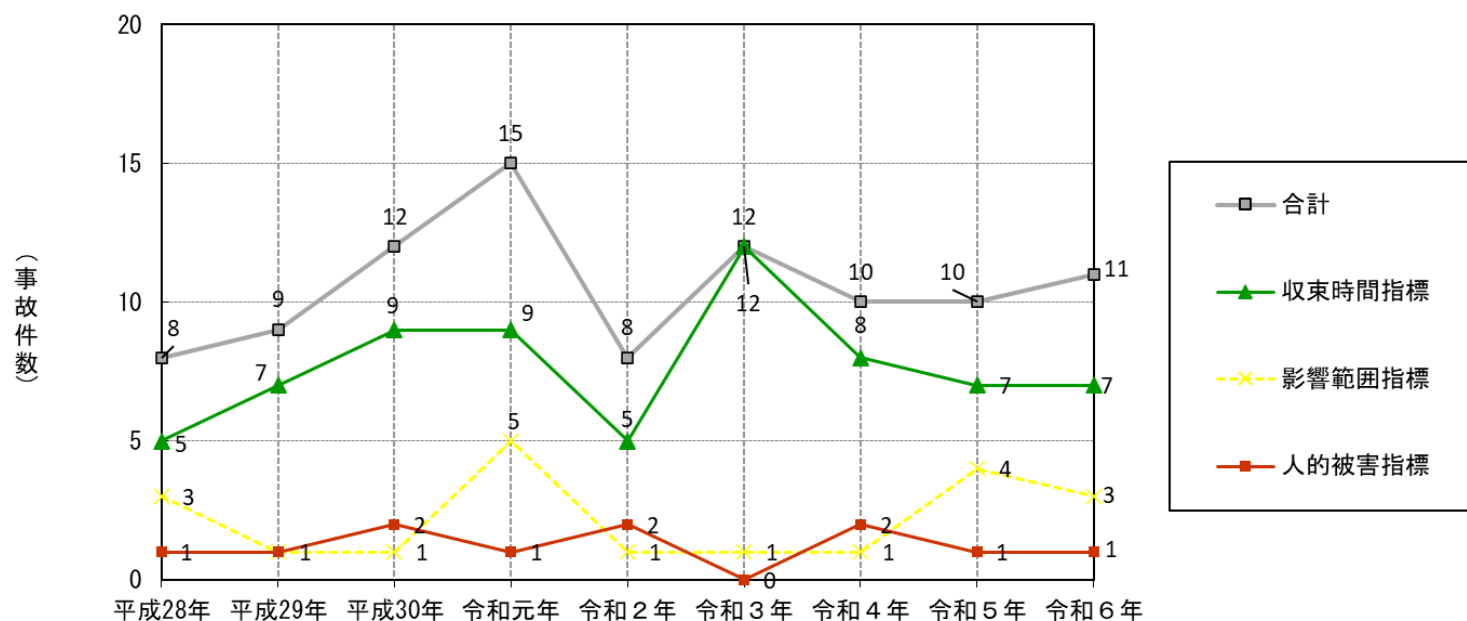
第2図 危険物施設における火災事故に係る重大事故及び軽微な事故の件数の推移（最近の9年間）



（注）火災事故に係る軽微な事故は次の①～③の全てに該当するものをいう。

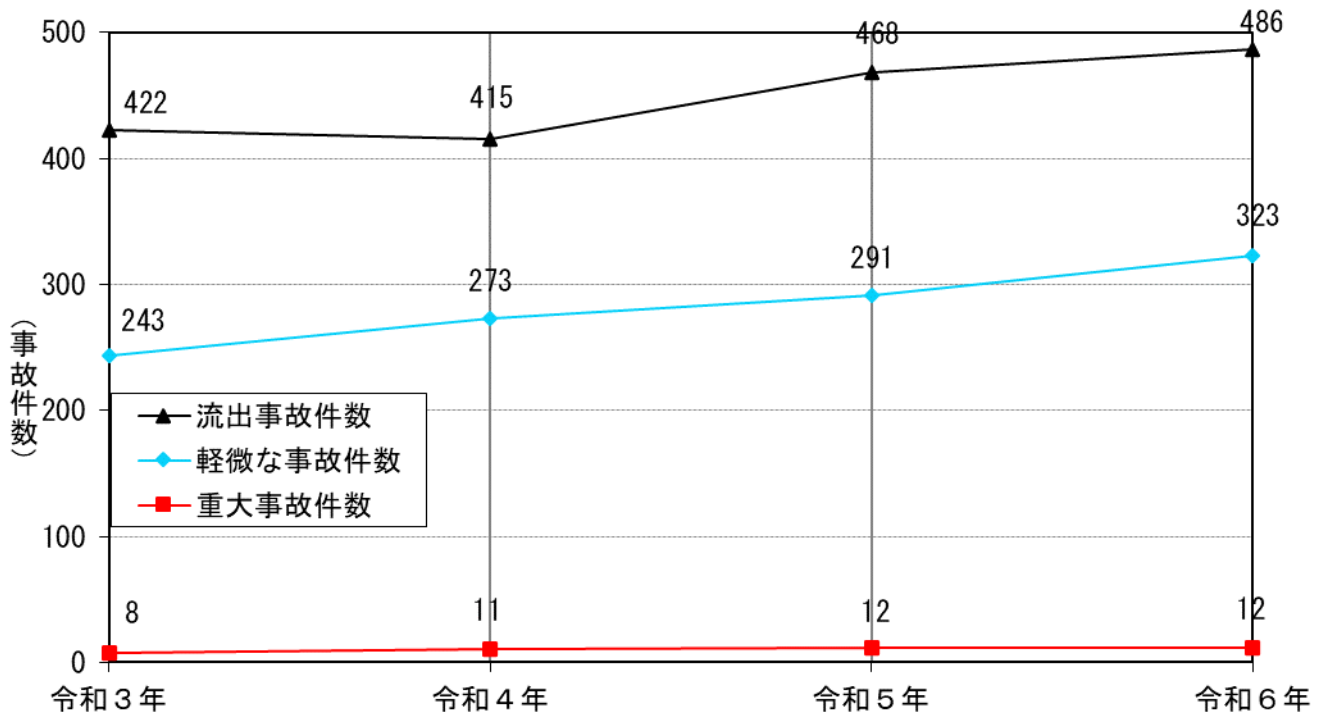
- ① 死傷者なしの火災事故（人的被害指標）
- ② 設備機器内のみに物的被害が発生した火災事故（影響範囲指標）
- ③ 事故発生から鎮圧までの時間が30分未満の火災事故（収束時間指標）

第3図 危険物施設における火災事故に係る重大事故の内訳の推移（最近の9年間）



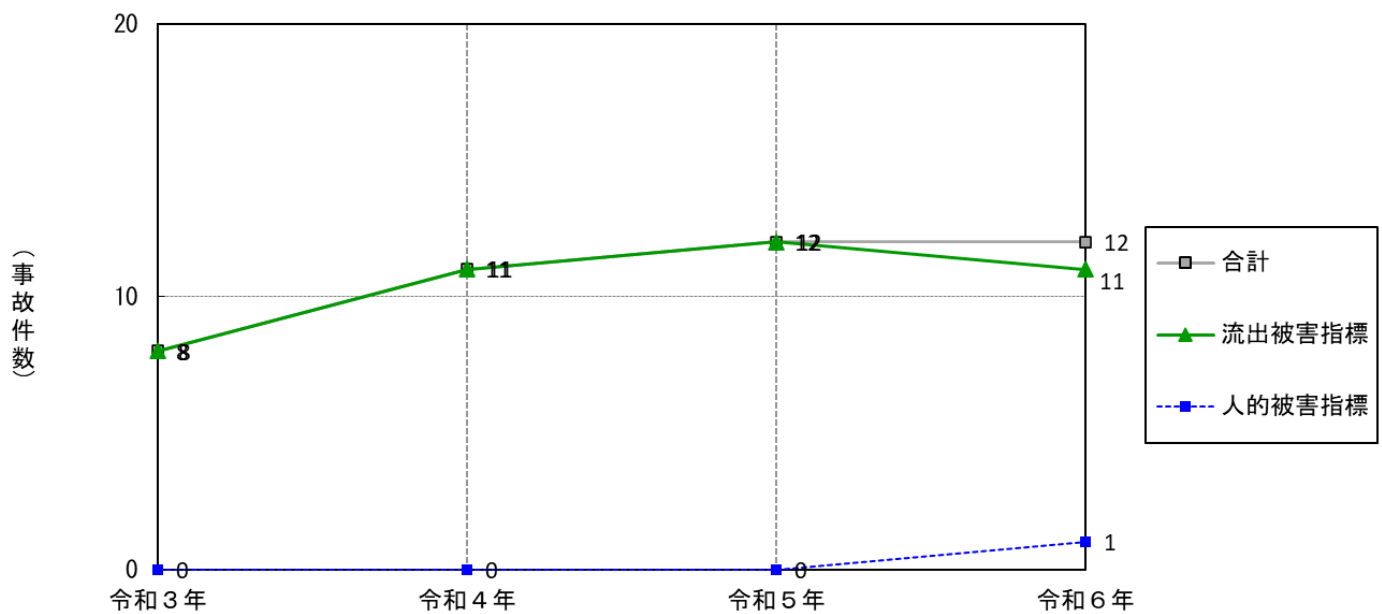
（注）1の火災事故で複数の指標に該当する場合、それぞれの指標として計上している。

第4図 危険物施設における流出事故に係る重大事故及び軽微な事故の件数の推移（最近の4年間）

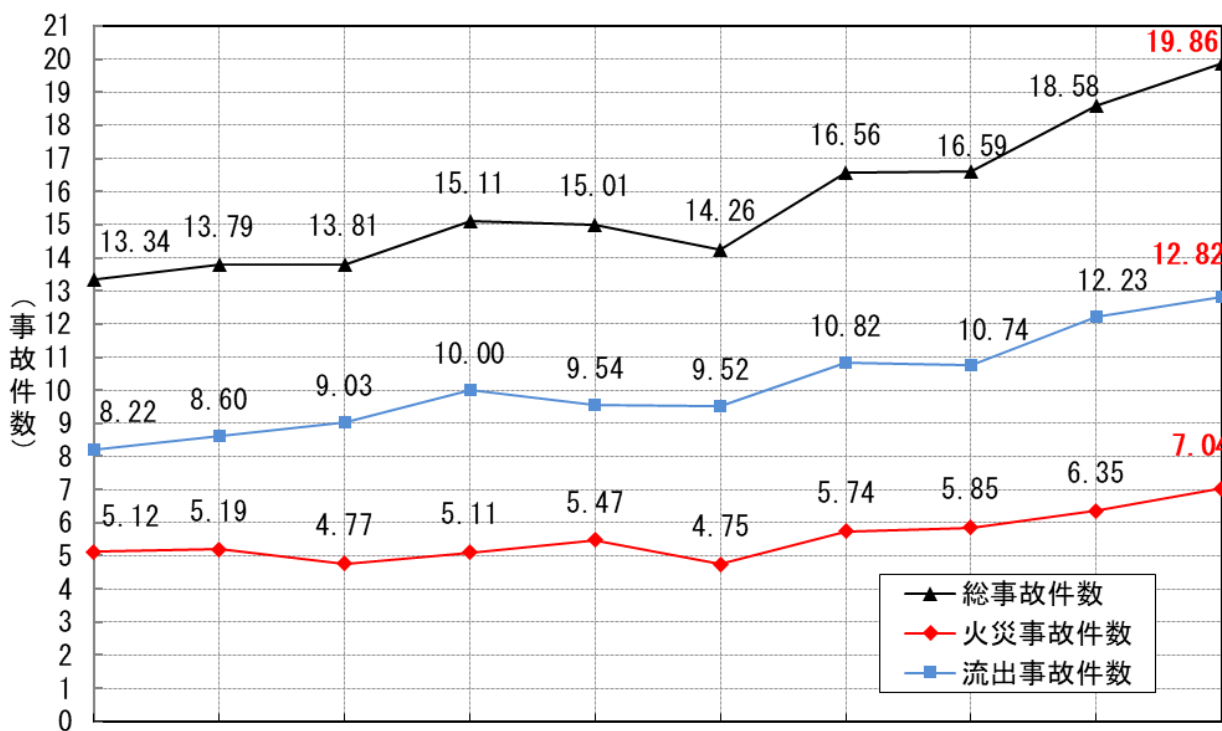


（注） 流出事故に係る軽微な事故は、死傷者なしの流出事故（人的被害指標）で一定量未満の危険物が事業所内へ流出した流出事故（流出被害指標）をいう。

第5図 危険物施設における流出事故に係る重大事故の内訳の推移（最近の4年間）



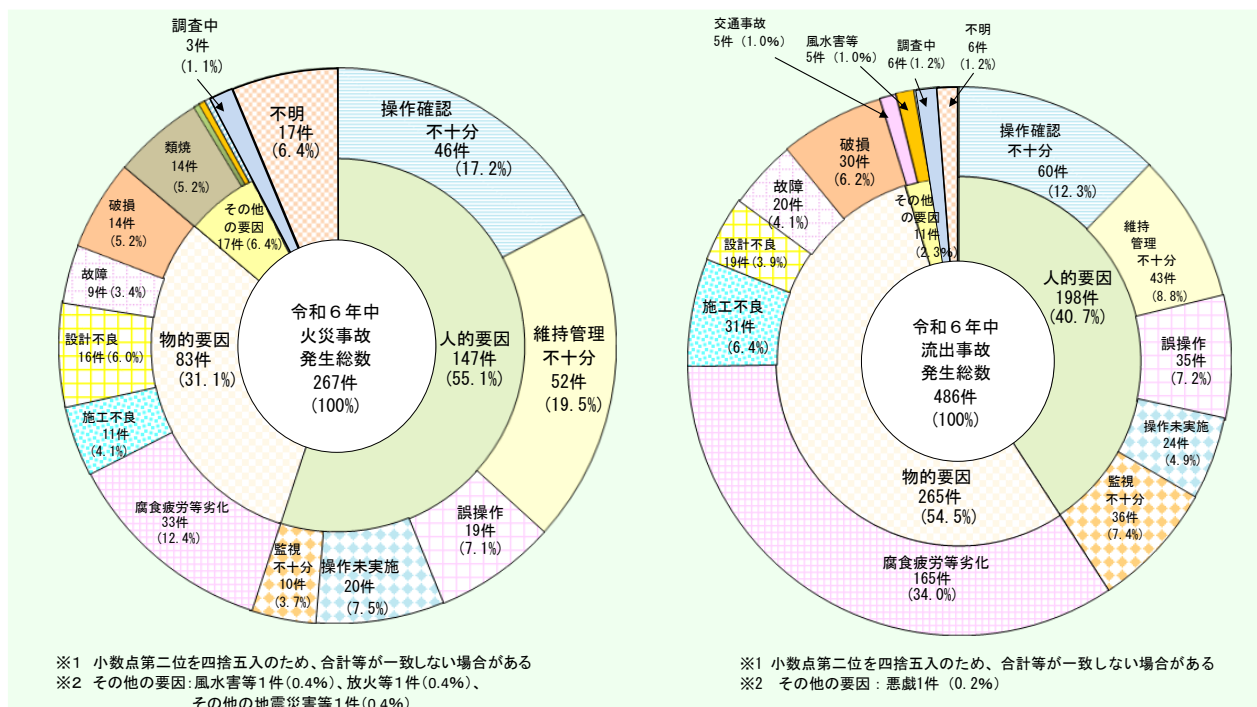
第6図 危険物施設1万施設当たりの火災事故及び流出事故の件数の推移（最近の10年間）



平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 令和元年 令和2年 令和3年 令和4年 令和5年 令和6年

（注）1万施設当たりの発生件数における施設数は各年3月31日現在の完成検査済証交付施設数を用いた。

第7図 令和6年中の危険物施設における火災・流出事故の発生原因



第 1 表 危険物施設における火災事故の発生件数と被害状況の推移（最近の10年間）

年	発生件数等 発生件数 (ア)	被 害			
		死者数	負傷者数	損害額 (イ) (万円)	1 件当たり の損害額 (イ) / (ア) (万円)
平成27年	215	0	31	795,606	3,700
平成28年	215	2	53	127,662	594
平成29年	195	2	51	266,780	1,368
平成30年	206	2	120	241,852	1,174
令和元年	218	1	37	558,763	2,563
令和 2 年	187	2	33	109,035	583
令和 3 年	224	0	36	704,692	3,146
令和 4 年	226	2	36	275,094	1,217
令和 5 年	243	1	29	780,267	3,211
令和 6 年	267	1	50	450,573	1,688

第 2 表 危険物施設における流出事故の発生件数と被害状況の推移（最近の10年間）

年	発生件数等 発生件数 (ア)	被 害			
		死者数	負傷者数	損害額 (イ) (万円)	1 件当たり の損害額 (イ) / (ア) (万円)
平成27年	345	2	10	38,127	111
平成28年	356	0	28	27,140	76
平成29年	369	0	29	43,403	118
平成30年	403	0	27	49,462	123
令和元年	380	0	27	96,039	253
令和 2 年	375	0	23	22,886	61
令和 3 年	422	1	28	47,673	113
令和 4 年	415	0	18	56,638	136
令和 5 年	468	0	11	88,539	189
令和 6 年	486	1	40	42,422	87

- ・ 各数値については、調査中のものがあり、変動することがある。
- ・ 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。